

2026 年 7 月 17 日

各 位

会 社 名 サンネクスタグループ株式会社
代表者名 代 表 取 締 役 社 長 高 木 章
(コード番号 8945 東証スタンダード)
問合せ先 執行役員 (総務担当) 田 中 俊 治
(TEL. 03 - 5229 - 8839)

「取締役会の実効性評価」結果の概要について

当社は、取締役会の実効性を確保し機能向上を図ることを目的として、2026 年 6 月期（以下「本年度」といいます。）も「取締役会の実効性評価」を実施いたしました。

その結果の概要を下記のとおり、お知らせいたします。

記

1. 本年度の評価の方法・進め方について

当社は、2020 年 7 月 1 日付で持株会社に移行しグループガバナンスを強化するとともに、取締役会の監査・監督機能のさらなる強化を図るべく同年 9 月 25 日開催の当社第 22 期定時株主総会のご承認のもと監査等委員会設置会社に移行し、コーポレート・ガバナンスの一層の充実を図っております。

- (1) 本年度の評価を実行するに際し、取締役会の実効性評価において、
「形式的課題」(例:資料の事前配布時期等)から「実質的課題」、
すなわちコーポレートガバナンス・コード基本原則 4【取締役会等の責務】でいう『会社の持続的な成長と中長期的な企業価値の向上』への視点でいかに取締役会が機能しているか」の評価に、
より重点を置くべきである、との認識のもと、評価の方法、進め方について議論しました。
- (2) その議論の結果、取締役各人による評価（＝アンケート回答）を実施し（3 月～4 月）、各人によるその評価をもとに、その後の取締役会において評価の審議を行いました。
- (3) 評価の対象・内容（＝アンケート項目/計 28 質問）は以下のとおりです。
 - 1) 取締役会全体に関する評価
 - ①取締役会の役割・責務（コーポレートガバナンス・コード基本原則 4）
 - ②前年度からの継続課題（執行状況の共有・監督）
 - ③コーポレートガバナンス・内部統制
 - ④役員トレーニング
 - 2) 取締役に関する評価
※前年度と同じく、「自己評価」に加えて、他の取締役（全体）に対する「相互評価」も実施しました。
 - 3) 取締役会議長の役割発揮状況に関する評価
 - 4) 執行役員の「職務執行状況」及び「取締役会付議・報告」に関する評価
 - 5) 取締役会事務局に関する評価
 - 6) その他（自由記述）

2. 本年度の分析及び評価結果の概要並びに今後に向けた取り組みについて

本年度の評価にあたっては、取締役会における活発な議論のもと、主に、上記取締役各人による評価（＝アンケート回答）において比較的评价の低かった項目、及び前年度からの継続課題について、取締役会において忌憚のない意見交換・協議を行いました。

その結果、当社取締役会は全体として有効に機能しているとの結論に至りました。

また、本取締役会実効性評価の審議（各アンケート評価も含む）は、今後の取締役会議題やその運営に大いに資するものとなりました。

（注）継続課題「執行状況の共有・監督」に関する本年度の対応

- 1) 中期経営計画遂行における①K P I、②重要施策の進捗状況（一覧）の、毎月（決算月除く）の取締役会への報告
- 2) 事業会社からの定期報告（及び審議）
2025 年 11 月度及び 2026 年 3 月度：クラシテ
2025 年 12 月度及び 2026 年 4 月度：日本社宅サービス
- 3) 社外取締役によるグループ各社社員総会へのオブザーブ参加・映像等閲覧
- 4) 社内広報情報の適時共有
- 5) その他、取締役に有用な情報の迅速な提供・共有
- 6) （社外取締役が出席している）監査等委員会における執行部門へのヒアリング

執行状況の共有と監督については、引き続き、改善・工夫の余地（例：経営の重要・重大課題に関する審議のさらなる充実等）があり、継続課題として、さらなる取締役会の実効性向上に努めてまいります。

以 上